

令和3年8月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和3年8月19日（木） 午前10時10分～午前11時00分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	美濃部俊裕（教育長職務代理者）
委員	中村 亜紀
委員	松宮 誠也

4. 欠席者

委員	廣田 光前
委員	宮本 麻里

5. 出席事務局職員

教育部長	酒井猛文
次長	鵜飼康治
次長	清水伊佐雄
教育総務課長	服部稔
教育改革推進室長	中北隆尚
教育指導課長	笥敏弘
すこやか教育推進課長	宮本安信
幼児課長	中島尚子
教育センター所長	織田恭淳
教育指導課副参事	北川剛
教育総務課長代理	前嶋美和
教育総務課主事	伊賀並樹輝

6. 傍聴者

2名

II. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

日程第1 会議録署名委員指名

日程第2 会議録の承認

日程第3 教育長の報告

日程第4 議案審議

議案第33号 令和4年度使用中学校社会科（歴史分野）教科用図書の採択について

日程第5 協議・報告事項

(1) 令和4年度 幼稚園、保育所及び認定こども園の入園入所申込受付について

日程第6 その他

3. 閉 会

Ⅲ. 議事の概要

1. 開 会

開会時間の変更について教育長から申し出があり、出席委員から承認を得た。教育長から開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

美濃部委員、松宮委員

3. 会議録の承認

7月定例会

特に指摘事項はなく、7月定例会の会議録は承認された。

4. 教育長の報告

教育長：全国的な新型コロナウイルス感染症の急拡大が心配されますが、市内校
園は2学期を迎える時期に入ってきております。また、今週から中体連の全国
大会が開催されます。先日、出場する市内中学生の壮行会を行いました。開催
の有無等について注視していましたが、事前の健康チェックなどの感染対策を
講じたうえで、開催する方向であると聞いております。

昨年4月に長浜市新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー会議を立ち上
げました。これは専門家、専門医の立場からアドバイスを受けることを目的と
し、長浜赤十字病院、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、湖北医師会の先生方
のご協力のもと、校園からの質問に対して助言、指導を受けております。新学
期を迎えるにあたり、明日の午後この会議を開催する予定です。

次に、立命館大学の宮口幸治先生に教職員向けの講演をしていただく予定で
す。立命館大学の宮口先生は、昨年出版された『ケーキの切れない非行少年た

ち』がベストセラーとなった全国的に有名な方です。実はこの方は、医療少年院で非行少年の矯正教育に長年携わっておられた小児精神医療の専門医でございます。

この『ケーキの切れない非行少年たち』には、就学前でも小中学校であっても、問題となるような行動をしてしまう子どもたちは認知機能に課題がある場合が多いということが書かれていました。認知機能といってもさまざまなのですが、相手の表情による認知機能は特に重要でして、例えば、自分の発言や行動について相手はどのように思っているのかということ推測する能力が劣っていると、トラブルに発展するケースがあります。

さらに、境界知能、グレーゾーンという、知能指数が平均的とされる部分としょうがいがあると判断される部分の境界上の場合、発達上の課題が周囲に認められず課題が増幅していくことがあります。このような子どもたちに対し、熱意や愛情で接していただくだけでは決して解決しないと感じております。

また、宮口先生の考えの中で、興味を引かれたのが、「褒めて育てる」だけで問題は解決するのかということです。もちろん褒めることは大切ではありますが、課題に対して向き合わない限り、その課題は残り続けます。子どもたちを向上させたいと考えるのであれば、子どもが抱える課題の手だてを考える必要があるということです。

宮口先生は、このような観点から認知機能を高めるようなトレーニングを考案され、コグニティブトレーニング、略してコグトレと言いますが、このコグトレを子どもたちに行っていくようさまざまな取組をされています。

大変お忙しい方で、なかなかご予約が合わなかったのですが、なんとかお時間をとっていただけることとなりました。ただ、今回の講演は、宮口先生から子どもたちの指導に当たっている方を対象として話をさせていただきたいというご要望がありましたので、一般の方に広く周知をしたり、参加していただくということは難しいのですが、この講演が、子どもたちの健全な成長につながるきっかけとなることを期待しているところでございます。

松宮委員：認知機能に問題があると思われる方に対して、長浜市の教育として何か特別な対応はあるのでしょうか。

教育長：特別支援教育の具体的な方策でいいますと、愛着の課題や発達上の課題などさまざまな課題がある子どもたちに対して専門員のチームをつくっております。大学の先生、弁護士の方、警察出身の方など、さまざまな分野の専門員の方にチームを組んでいただきまして、早急に対処が必要な子どもに対しては巡回相談、巡回指導という形で現在取り組んでいるところでございます。

そして、指導者の目を育てるために、就学前の保育士の方、幼稚園の先生方に特別支援の勉強をしていただくことにも力を入れています。

文部科学省のある調査では、1学級に発達上の課題がある子どもが6%ほどいるという結果となっていました。この結果を受け、本市では平成16年度から

市内校園の全職員を対象に初級・中級・上級に分けて専門員による研修を実施しております。その成果もあり、発達上の課題等がある子どもへの指導に関する資格の特別支援教育士を取得している先生が増えています。また、特別支援教育士のみならず、公認心理師の資格を取得するほど勉強を重ねている方もいます。

ただ、私が懸念していることに、ベテランの先生と若手の先生の急激な入れ替わりが起こっていることが挙げられます。若手の先生は、ベテランの先生に比べて、知識が乏しいわけではありませんが、経験が不足しています。知識はあるが、どの子どもにどういった課題があるのかといった、判断ができないことが考えられます。

そのため、特別支援教育に力を入れていかなければ、校園での教育課題を解決することができないと考えています。子どもに対して早い段階から手だてを打っていく必要があります。この宮口先生のコグトレもその一つだと思います。また、子どもに応じた個別の支援プランに基づいて対応していく必要もあると思います。

松宮委員：先日、大津で兄が妹を死亡させた事件がありましたが、教育委員会同士のつながりから情報などが入ってきているものなののでしょうか。大津の話なので実際にこちらで調べられるかどうかは分からないのですが。

教育長：大津の件に関しては特に情報は入ってきておりません。

今お話にあったような虐待について、虐待と言うと生死に関わるような暴力というイメージがありますが、子どもたちの発達に関して一番大きな阻害要因は何かというと心理的虐待であるという考えもあります。幼い頃から心理的虐待を受けると、脳が発達していく時期に自己防衛反応を起こすと言われていています。自己防衛反応を起こした子どもは、他人に対して自分がこう言ったら相手がどう思うかを予測することを苦手とする場合が多く、学校・園生活で対人トラブルに発展してしまうことがあります。

また、心理的虐待の被害を受けた子どもたちは優劣関係というのに非常に敏感であると言われていています。つまり他人よりも優位に立ちたい、優位に立たなければ自分の生存が脅かされると考えてしまうのです。

心理的虐待が難しい問題となる要因の一つが、保護者が心理的虐待しているという認識がないことです。なぜ認識がないかというと、保護者も小さいときに同じようなことをされて育っているからです。そのため、子どものトレーニングだけでなく、保護者のトレーニングも並行して進める必要があります。

この保護者のトレーニングでは、子どもとの向き合い方、愛情のかけ方を勉強することを目的としています。具体的には、指導員が子どもと接している姿を保護者に見てもらい、指導員と交代して行うといったことを取り組んでいます。

トレーニングをやったからすぐ成果が出るものではないと思います。しかし

やらないよりもやるほうが必ずその子のためになると考えています。本市では就学前から小学校、小学校から中学校へつなげていく取組を行っています。問題解決までの道のりは長く、この先全てがうまくいくとは限りませんが、一人でも多くの子どもに対して支援を行いたいと考えています。その取組の一つが今年の4月からスタートした幼稚園での支援ルームです。この支援ルームが教育的な課題の根本的な解決に向けての第一歩となればと考えております。

5. 議案審議

議案第33号 令和4年度使用中学校社会科（歴史分野）教科用図書の採択について

教育長は事務局に説明を求め、教育指導課長から資料に基づき説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり

松宮委員：ほかの教科書についての評価は分かるのでしょうか。ほかの教科書と比べてどのような点が足りなかったのかなど、検討された過程が分からないので教えてください。

教育指導課副参事：ほかの教科書につきましても、同じ観点で詳しく検討していただいております。どの教科書においても主体的、対話的、深い学びにつながるような部分であったり、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることなど、さまざまな工夫が見られました。ほかの教科書がなにか足りなかったということではなく、総合的に判断し、日本文教出版の教科書が見開きで進みやすいこと、資料、写真等の特徴、子どもの家庭学習にもつながるような構成になっているといった部分を評価し、選定していただいております。

中村委員：2種類の教科書をお借りし、見させていただきました。載っている資料や図などについては、大きな違いはないと感じました。2種類のうち1つは今回選定されたものでしたが、選定されたもののほうが深い学びにつながる工夫がされていると思いました。もう1種類については、神話についての記載があり、歴史上の事実と同じように記載されているように感じ、少し違和感を感じました。

また、選定されたものについて、近世の歴史が詳しく書いてあると感じました。今のことを知るといえる意味ではこちらのほうがよいかと思いました。

教育指導課副参事：今ご意見をいただきましたように日本文教出版の教科書では、課題に取り組み、知識を深め、学習内容を家庭で確認するという流れがわかりやすいものになっています。このような点から、学習する子どもたち、指導する先生にとって、わかりやすく学習が進められる教科書であると思っております。

美濃部委員：私は教育委員代表として、教科書採択協議会に出席させていただきました。

私が小学校の教員のころは、どちらかというと先生主導の、知識を注入する

ような授業が多かったと思います。現在では、大きく見直され、主体的・対話的で深い学びを重視されています。これは、児童生徒が主体ということだと思います。教科書や資料から読み取り、興味をもつことが学習のスタートになると思います。

教科書の年表の位置一つであったとしても、子どもにとっての印象は大きく変わると思います。どの教科書も、文部科学省の教科書検定に合格している教科書ですので、どれも必要な基準は満たしているものだと思います。

会議の場では、実際に使用する子どもの目線や指導される立場の先生の目線などさまざまな考え方から意見が交わされており、私自身なるほどと感じることも多くありました。

その他に意見はなく、各委員とも異議なしということで、原案どおり採択することに決定された。

6. 協議・報告事項

(1) 令和4年度 幼稚園、保育所及び認定こども園の入園入所申込受付について
教育長は事務局に説明を求め、幼児課長から資料に基づき説明があった。

主な質疑応答は以下のとおり

教育長：昨年度の申込み受付と違う点はありますか。

幼児課長：昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、大幅に変更させていただきましたが、今年度につきましては例年とほとんど変わりありません。

中村委員：保育園は0歳児から子どもを預かるため、幼稚園に比べ、入園時の子どもの年齢がさまざまかと思います。すでに入園している子どもの人数によっては、入園を希望しても入れない人がでてくるのでしょうか。

幼児課長：保育園の0歳児から3歳児につきましては、新たに入園を希望される方もすでに入園している方も、毎年申込みが必要となります。また、入園している方が優先的に入れるということもありません。受入れの園にもよりますが、それぞれの園で工夫され、適切な人数の募集を行っていただいているところです。

7. その他

松宮委員：運動会や体育大会について、新型コロナウイルス感染症の影響により、どのような対応になるのでしょうか。また、保護者の方がたくさん来られることについての対応もお聞かせください。

清水次長：行事等については、昨年度から感染防止対策の徹底のもと行っています。今年度も同様に、飲食を伴わない午前中で終わる形やテント内の人数が密にならないようにするなどの感染対策を講じたうえで、各学校の状況や規模に応じて実施する予定です。

松宮委員：大規模校の場合、それなりの人数になってしまうため、人数制限にご

理解をいただくことが大切かと思います。各学校によって状況が変わると思いますが、万全の対応をお願いいたします。

教育長：昨年は、可能な限り運動会の視察を行いました。学校によって対応の方法はさまざまでした。出入口を完全に1か所にできるような学校については、出入り口を絞り、入り口で検温、手指消毒を徹底していました。規模が大きい学校になると出入口を特定することが難しいため、職員が手分けして対応に当たっていました。

感染状況は予測もつかないため、急遽対応を考えなくてはならないケースも出てくると予想しているところです。先ほど申しあげました新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー会議の先生方にもご指導いただければという思いでございます。

最後になりましたが、本日は開始時刻を変更して開催させていただきました。この件につきまして大変申し訳ございませんが、改めて委員の皆様からご了解くださいますようお願い申し上げます。

8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。